

粟生町会だより

I. 『能美市の10年後の未来』に向けてのタウンミーティング

7月27日(木)午後7時半より粟生町公民館に於いて、粟生校下6町会合同の「タウンミーティング」が開催されました。各町から活発な意見・提案が出されまして、長時間にわたる長文の議事録の中から、粟生町に関連する箇所のみを抜粋した意見・提案と市長回答を記載致します。

Q. 高齢化により町内会役員の担い手不足⇒地域力の低下⇒地域コミュニティの崩壊⇒歴史文化伝統の継承困難⇒地域の魅力の低下⇒活力ある地域社会の継続化を図るために何をすべきか。

A. 人口減少問題の課題解決の為に、移住・定住の促進、企業誘致、地場産業の振興、交流人口の拡大等々に取り組んでいく。それを進めていくに当たってまさにシティープロモーション、能美市の魅力を発信して行きます。又、まちづくりや市の行政、住民間のコミュニティに対して関心が薄くなってきている現状を打開するために、市民と一緒にこの町のあり方を語ろうという「出前講座」を開いています。そうやって市民の皆さんの声を市政に反映し、最終的に笑顔で暮らしていただける、そんな能美市になることを目指して努力していきます。

Q. 能美市としてこれからの高齢化対策をどのように考えておいでますか？又、10年後を考えて高齢者が生活しやすい、住みやすい、そういうモデルタウンを作るのは如何でしょうか？

A. 決して高齢者の方がお一人では無い。地域の皆さんと一緒にこの地域に暮らしている、誰かが必ず見守っているという雰囲気、状況を支援していければ良いなと思っています。能美市としまして互助とか共助を、市民の皆さんと一緒にこの施策を進めて行きます。モデルタウンに入居するのに、高額なお金がかかる事を聞いていますので、能美市はできるだけご家庭のそばで将来、生涯暮らして頂けるそんな仕掛けの方が良いのではないかと考えていまして、それを総じて「地域包括ケアシステム」を推進して行こうと考えています。



Q. 粟生町熊田川以北の宅地造成を、Iターン・定住の受け皿となるために能美市主導でお願いします。

A. 市主導で宅地造成しても、完売する力はありません。民間にお願いすることがベストだと思います。

Q. 粟生北交差点から出口町交差点までを4車線化し、ショッピングセンターの誘致をお願いします。

A. 小松市、白山市に大きなショッピングモールがあり、現状では市民の皆さんはそれほど買い物に不自由では無いと思います。将来的にそのような時が来たら積極的にやっていきたいと思えます。4車線化のお話ですが能美根上インターチェンジが開通しても、粟生北の交差点の交通量はそれほど多くなるのではないかとこの予測が出ています。交通量が想定外に増えた時に4車線化ということも、考えて行かなくてはならないと思っています。

Q. 粟生工業団地にはここでしか作れない製品を作っているハイクラスな企業や、小規模でも磨けば光る企業を育てるべきだと思います。頑張っているいい企業を誘致して、支援し、育てて下さい。

A. おっしゃる通りだと思います。エールを頂いたと思って私も、頑張りたいと思っています。

Q. 登記上は農地になっている土地に、宅地並みの税金が、かかっているのは何故ですか？

A. その土地の状況が分からないと、正確にお答え出来ないの、別途、直接お伺いします。

Q. 粟生校下には石川県の絶滅危惧種の「ハリンコ」が生息しています。このハリンコを大々的にアピールして公園や会館を造ったり、手取フィッシュランドと提携したりして、ハリンコを救うような考えで、将来的に前へ進むような事を、考えて頂きますようお願い致します。

A. 石川県でもこのまま放っておけないという事で専門の組織を作って何とか出来ないかと検討を始めています。能美市でもハリンコを絶滅させることなく、いつまでも大切に保存できるように考えています。いろんな機会を通して意見交換もさせて頂きたいと思っています。